

学校生活に課題がある
子どものための

表現アクティビティー・グループ

落ち着きがない
学校にいきづらい
友達とうまく遊べない
自分を表現するのが苦手・・・



現代社会において、子ども達は塾や習い事に追われ、同年代の子どもと学校以外で遊ぶ経験が少なくなっているといわれています。学校や集団にうまくなじめない子どもたちにとって、少人数グループの活動はソーシャルスキルや情緒を育てる大変良い機会です。

心理の専門家によるアクティビティー（様々な活動）を中心とした集団療法は、「楽しく遊ぶ」だけでなく、子ども一人一人にあった目標を立て、子ども達のさらなる心の成長を目指します。

対象となる子ども：

友人関係が苦手、緊張が高い、落ち着きがない、学校に行き渋る、自己表現が苦手など、学校や集団で難しさを感じている小学生児童

グループの活動内容：

創作活動、ドラマアクティビティー、ゲームなどを通して、ルールを守って仲間と楽しく遊ぶ・様々な経験や気持ちを共有し合う・評価にとらわれず自由に自分を表現する・自分の課題に挑戦するなどの体験を積み、子ども達の情緒を育て、より健やか成長をサポートします。

たとえば・・・自己紹介ゲーム、共同絵画・工作、お話づくり、振り返りの時間

グループファシリテーター：

井口雅子（ドラマセラピスト／チャイルドライフスペシャリスト）

倉石聡子（アートセラピスト／臨床心理士）

日時： ①毎月第1・第3月曜日 午後5時～6時半

②毎月第2・第4土曜日 午前10時～11時半

会場： 東京都区内にて

* 詳しい場所に関しては申し込みされた方に後日お知らせいたします。

参加費： 1回2500円

定員： 8名

お問い合わせ： E-mail： info@apconcept.jp

apconcept（アッぷコンセプト）まで子どもの名前、年齢、連絡先電話番号、連絡のつく時間帯をメールしてください。こちらから追ってご連絡いたします。

* グループ開始前に個別でお話を伺う場合があります。

apconcept とは？

A=Artful (創造性に溢れる)

P=Playful (遊び心に満ちる)

二つの要素を、生き方に取り入れたいという願いを込めて、各種ワークショップやセミナー、個人・グループを対象とした心理療法などの活動を行っています。

apconcept は欧米で専門性が確立されているクリエイティブ・アーツ・セラピーの理念と臨床経験に基づき、自由に表現する、そして表現する喜びを分かち合うことを大切にしています。

※ クリエイティブ・アーツ・セラピーとは

諸芸術を治療や支援に意図的に用いる心理療法である。主なものには、アートセラピー、ダンス・ムーブメントセラピー、ドラマセラピー、ミュージックセラピー、表現アーツセラピーなどがある。欧米では大学院レベル以上の教育機関でトレーニングを積んだ専門家が福祉・教育・更正・医療・産業等様々な分野で活動している。

対象者は・・・

性別・年齢・障害を問わず、誰もが持つ創造性を活かすことにより、自己成長や自己実現を目指し、医療・福祉・教育・心理の分野で幅広く適用される。

目的は・・・

心身の不調やさまざまな障がいの回復、機能の維持や改善、ストレスの緩和や予防、リラクゼーションの促進、モチベーションや生活の質の向上、行動の変容、自己洞察の深化、その他、自尊心や自己肯定感、主体性や柔軟性、創造力や表現力の向上など

表現アクティビティー・グループ ファシリテーター

井口 雅子 (いぐちまさこ)

ドラマセラピスト、チャイルド・ライフ・スペシャリスト

Kansas State University 大学院演劇学科ドラマセラピー専攻修士。アメリカの知的障害者施設、高齢者福祉施設、小児病院などで創作・ドラマ表現を用いたグループおよび個人療法を行う。帰国後は、大学病院小児科にて病児・家族支援を目的とするチャイルド・ライフ・プログラムを担当。現在は、都内の教育相談センターにて心理相談員、福祉・医療系専門学校にて非常勤講師。教育相談センターでは不登校、発達障害、家庭問題など課題を持つ子ども達の個人面接やグループ療法を行っている。

倉石 聡子 (くらいしあきこ)

アートセラピスト、臨床心理士

Notre Dame De Namur 大学院マレッジ・アンド・ファミリーセラピー/アートセラピー修士。アメリカの小学校およびファミリーセンターで創作・アート表現を用いたグループや個人の心理療法を行う。帰国後は、精神科入院病棟アートセラピーグループ、中学校相談員を経て、現在は女性外来クリニック、カウンセリングセンター、都内の教育相談センターにて心理相談員として勤務。教育相談センターでは不登校、発達障害、家庭問題など課題を持つ子ども達の個人面接やグループ療法を行っている。